

心温まる作品づくり ～サロン はまなす会～



田原福祉センターでは、様々なサロン活動が行われています。その中で作品づくりを行っているサロン「はまなす会」をご紹介します。

はまなす会は平成28年度に発足したサロンで、70代から80代の会員の方が参加されています。干支の飾りや折り紙、フェルトを使った作品づくりから編み物まで、活動内容は様々です。



会が発足した当初は、市内全保育園で折り紙紙芝居を披露したり、折り紙教室を開催するなど、様々な活動を行っていました。折り紙紙芝居で使うパーツの制作では、会員の中で自然と役割が決まり、お互いが教え合いながら1つ1つパーツを作成しました。当時を振り返って、会員の方は「登場人物の衣装合わせなど、大変なこともあったけど、1つの作品



を作り上げることで会員の心が一つになった」と懐かしそうにお話されていました。

コロナの影響もあって、折り紙紙芝居を披露する機会も少なくなりましたが、コロナ前から続いている学童保育での活動は、現在も継続して行っています。



はまなす会では、地域の違う方々が集まっておしゃべりをしながら一緒に作品作りをしています。年齢や地域は問いませんので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

はまなす会 日時：毎週月曜日9時～15時 場所：田原福祉センター



作品作りの様子



田原福祉センターにもたくさんの作品が飾ってあります

田原市にて「第63回愛知県身体障害者福祉大会」が開催されました

令和6年12月8日（日）、「障害者週間」にあわせ、田原文化会館で「第63回愛知県身体障害者福祉大会」が開催され、名古屋市を除く愛知県下の各市町村から320名が参加しました。

この大会は愛知県内の身体障害者団体が一堂に会し、長年ご尽力いただいた会員の表彰や、障害者福祉の更なる増進のために、毎年開催されています。

田原市からは以下の方々を受賞されました。

- 愛知県知事表彰（自立更生者） 小柳津保弘さん
- 愛知県社会福祉協議会会長顕彰（更生援護功労者） 中神恭子さん
- 愛知県身体障害者福祉団体連合会会長表彰（更生援護功労者） 太田秀郎さん



「障害者週間」は、毎年12月3日から9日までの1週間です。国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。